

「災害対策本部図上訓練」を実施します

－平成30年度「みやぎ県民防災の日」気仙沼市総合防災訓練－

- 「東日本大震災」等の災害経験を基に、「みやぎ県民防災の日（6月12日）」に先立ち、災害対策本部対応職員による災害対応図上訓練及び防災関係機関との情報収集・伝達訓練を実施し、災害対策本部の対処能力向上及び関係機関との連携促進を図ります。
- 当日は、コントローラー（訓練を仕掛ける側）とプレイヤー（訓練を受ける側）に分かれ、実際の災害において予想される被害状況を具体的に想定し、コントローラーからの状況付与に対して、プレイヤーが情報収集、情報優先度の選別・分類、意思決定、指示を行います。
- 平成30年6月7日（木）午前9時、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0と推定される地震が発生し、（宮城県内で最大震度7、気仙沼市で震度6弱）沿岸部に大津波警報（特別警報）が発表され、家屋等の倒壊や大津波、土砂災害、火災、ライフライン途絶等の甚大な被害が発生した。また、台風の接近により前線が活発化し、大雨警報及び土砂災害警戒情報が発表され、土砂災害発生危険度が高まったという想定のもとに訓練を進めます。

【日 時】 平成30年6月7日（木） 午前9時～正午

【会 場】 市ワン・テン庁舎 大ホール

【訓練実施機関】 気仙沼市、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

【参加機関】 気仙沼警察署、陸上自衛隊、海上保安署等防災関係機関

【市訓練参加者】

- | | |
|---|--------------|
| (1) 災害対策本部本部長、副本部長、本部員 （市長、副市長、教育長、各部長等） | 14名 |
| (2) 災害対策本部連絡室・各部に所属する職員（プレイヤー） | 42名程度（庁内22課） |
| (3) 危機管理課職員等（コントローラー） | 6名程度 |

【訓練評価者】 東北大学災害科学国際研究所職員

【その他】

他市町村からの派遣職員は、今後の防災対策の参考とするため、図上訓練を見学する予定です。

【 参 考（平成 30 年度訓練実施計画） 】

| 訓練名 | 訓練形態 | 訓練概要 |
|------------------------------|---------|---|
| 「みやぎ県民防災の日」 (6.12) 総合防災訓練 | 図上訓練 | ①日時：平成 30 年 6 月 7 日（木）9：00～12：00 ②目的：災害対策本部強化 ③内容：災害対策本部図上訓練 ④会場：ワン・テン庁舎 大ホール ⑤対象：災害対策本部員，市職員，防災関係機関 |
| 「津波防災の日」(11.5) 津波総合防災訓練 | 実働訓練 | ①日時：平成 30 年 11 月 4 日（日）時間調整中 ②目的：防災対応力強化 ③内容：津波等避難訓練，防災関係機関実働訓練 ④会場：全市域（津波等避難訓練），メイン会場調整中（実働訓練） ⑤対象：住民，防災関係機関，市職員 |
| 地区津波避難訓練 | 実働訓練 | 市内 14 地区の地区津波避難計画を基に，11 月 4 日の津波総合防災訓練において地区ごとに避難訓練を実施し，検証する。 |
| その他訓練 | 図上・実働訓練 | ①災害対応訓練（災害対策本部・支部連絡室）（随時） ②宮城県との洪水対応演習（情報伝達訓練）（4.20） ③避難所運営演習（調整中） ④衛星携帯電話通信訓練（随時） ⑤防災行政無線（移動系）通信訓練（随時） ⑥土砂災害避難訓練（11.4 予定） ⑦自治会主催の防災訓練への協力（随時） ⑧小・中学校主催の防災訓練への協力（随時） |